

令和 4 年度 学校経営計画書

学校番号	45	学 校 名	県立清流館高等学校	校 長 名	左口 邦彦
------	----	-------	-----------	-------	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

《成長する人》 - 広い視野のもと、主体的に学び、意欲的に努力する生徒を育む

《共生する人》 - 自他を敬い、多様な生き方を認める生徒を育む

《有為の人》 - 高い規範意識を持ち、地域社会に貢献する生徒を育む

(2) 目標具現化の柱

ア 思考力・判断力・表現力を伸ばし、主体的・対話的な学びを深めるとともに、課題解決に向けて探究的に取り組む態度を育む。

イ 自立的な生活習慣を確立し、互いを認め合い尊重する豊かな心を育む。

ウ 社会の一員として貢献する自覚と高い志を持って、自らの進路を切り拓く力を育む。

エ 教育諸活動に係る生徒への支援体制の充実を図り、「信頼される学校」づくりに努める。

オ 教職員の多忙化への対応を進め、業務分担のバランスをとり、業務引き継ぎが円滑に行われる体制づくりを進める。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	<p>思考力・判断力・表現力を伸ばし、主体的・対話的な学びを深めるとともに、課題解決に向けて探究的に取り組む態度を育む。</p>	<p>(1) 【授業改善と学びの手ごたえ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内の授業相互参観 ・校外研修への参加 ・「何ができるようになるか」を意識した授業改善 ・アクティブ・ラーニングの実践 ・総合的な探究の時間のリニューアル ・ICT 機器の効果的活用 ・学びの基礎診断や模試の結果の活用（適切な教育目標の設定、既習事項の確認等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外研修への参加 80% ・「授業の内容がわかる」と答える生徒 80% ・「学ぶ面白さを感じた」と答える生徒 80% ・授業を通して物事を考える方法や材料を身につけることができた、と答える生徒 80%以上 ・授業等で ICT 機器を活用した教員の割合 85%以上 ・学びの基礎診断や模試の結果が学年、進路課で活用され、指導の改善に結びついている。 	<p>教務課 研修課 進路課 学年部 教科</p>
		<p>(2) 【学習評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修を重ね観点別学習評価の実践と改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別評価について、教科内で共通理解がされていて、課題の洗い出しと改善が進められている。 	<p>研修課 教務課 教科</p>
		<p>(3) 【家庭学習の習慣化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びの基礎診断」の結果を踏まえた適切な学習課題の提供 ・学習方法の丁寧なガイド ・自主学習ノートの活用 ・ICT 機器の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業以外の学習を週 5 日以上 60% ・「自分なりの学習方法を身に付けている」と答える生徒 75% ・「学習に ICT 機器を活用していると答える生徒（1 年生）」75% 	<p>学年部 進路課 教務課</p>
		<p>(4) 【読書による学びの深まり、心の成長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用の促進 ・「読書ノート」の活用 ・新書等の読書案内、図書 	<ul style="list-style-type: none"> ・1 か月間の無読者 30%以下 ・生徒「読書ノート」記入数年 5 冊以上 ・読書が人の気持ちを考える、社会のを知る、知識を得る 	<p>図書課 進路課 学年部 教科</p>

様式第1号

		<p>リストの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習センターとしての図書室の機能 	<p>などに有用であると答える生徒 75%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新書を読んだ生徒 75% 	
イ	<p>自立的な生活習慣を確立し、互いを認め合い尊重する豊かな心を育む。</p>	<p>(1) 【あいさつ習慣と場に応じたふるまい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内での生徒・教職員のあいさつの励行 ・身だしなみ指導 ・異なる他者を尊重するクラス作り、授業作り ・SNS等の継続的指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・「進んで挨拶ができる」生徒と教員の回答ギャップ 10%以内 ・「正しい身だしなみ」生徒と教員の回答ギャップ 10%以内 ・生徒間、生徒・教職員間で場に応じた適切な言動と距離感の保持 生徒・教職員 100% 	生徒課 学年部
		<p>(2) 【特別活動の活用】</p> <p>学校行事、生徒会活動、HR活動への積極的な取組と効果的な運用及び思いやりの心と協調性の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による企画・運営が進んでいる。 ・委員会・係活動の充実 生徒 80%以上 	生徒課 学年部
		<p>(3) 【部活動の運用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自主性を引き出す部活動の運用 	部活動が充実している 生徒 80%	生徒課
		<p>(4) 【交通安全・命を守る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下校指導 各学期1回 ・交通安全街頭指導 11回～ ・交通安全教室等 2回～ 	交通事故件数 年 10件以下	生徒課
		<p>(5) 【健康を守る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬学講座実施 年1回 ・保健だより発行 10回～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムや食事など健康を維持することを意識している生徒 80% ・治療勧告に対する受診率 75% 	保健課 学年部
		<p>(6) 【環境整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な清掃、教室の整理整頓 ・ごみの減量・分別 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室等が公共の場として整っている。公私区別ができています。 ・ごみの総量の減少。分別されたごみ出しができています。 	保健課 学年部
		<p>(7) 【感性を豊かに】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞教室を活用した豊かな感性や鑑賞態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒満足度 80% ・事後アンケートにより効果と課題の共通認識がされている 	図書課
ウ	<p>社会の一員として貢献する自覚と高い志を持って、自らの進路を切り拓く力を育む。</p>	<p>(1) 【福祉教育、社会貢献】</p> <p>福祉教育の有効活用及びボランティア活動、社会貢献活動への積極的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士国家試験の組織的指導体制づくりが進む。 ・介護技術コンテスト等を通し、技量や意識を高めている。 ・ボランティア、社会貢献活動に生徒が積極的に参加。 	福祉科 生徒課 福祉部
		<p>(2) 国や地域の課題に関心をもち、その解決のために考え、行動できる基礎力の養成</p>	模擬投票及び選挙による出前授業の実施を通して、生徒が具体的な参加イメージを持つことができる	地歴公民科
		<p>(3) 【キャリア教育】</p> <p>企業、福祉施設、大学等との連携によるキャリア教育の充実と職業観の育成</p>	生徒向け進路講演会 3回以上 保護者向け進路講演会 3回以上 進路課通信月 1回以上	進路課 学年部

様式第 1 号

		(4) 修学旅行を通して、平和意識を高め、各地域の自然や生活文化の違いを知り、集団における個の体験を積む。	「平和について意識が高まった」「各地域の自然や生活文化の違いへの理解が深まった」「他者を思いやる言動ができた」と回答する生徒 90%	2 年部
		(5) 高い目標を持たせる進路指導と進路目標の実現。タイムリーな進路情報の提供、SP の時間を通じた自己探究・進路探究、高目標保持者への特別指導（小論文、面接等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 年生進路目標の実現の満足度 90% ・ 必要な進路情報が入手できている 80% 	進路課 学年部
エ	教育諸活動に係る生徒への支援体制の充実を図り、「信頼される学校」づくりに努める。	(1) 清流館高校の将来を見据えた取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清流館キャッチフレーズの策定、スクールポリシーの策定、生徒育成の教職員の共通理解 	副校長 教務課
		(2) 喫緊の課題に対応した教員研修実施	学習評価をテーマにした校内研修の計画的実施とチームプロジェクトの充実	研修課
		(3) 相談室を核とした特別支援教育の充実 相談室情報連絡会議年 7 回 特別支援委員会年 5 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定例の会議に加え、必要に応じて随時ケース会議を行い迅速な対応態勢が整えられる。 ・ SC や外部専門機関とのスムーズな接続がとられている。 	相談室
		(4) 適正かつ効率的な予算執行による教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計研修実施 年 1 回以上 ・ 適正かつ効果的な予算配分及び計画的な予算執行が行われている 	事務室
		(5) 学校危機管理体制の向上及び防災意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災マニュアル改訂 ・ 職員の防災研修の実施 ・ 校内防災訓練実施 年 2 回以上 ・ 地域防災訓練参加生徒 50%～ 	総務課
		(6) 学校便り、HP、SNS（インスタ）、学校公開、地域活動等による清流館高校の魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ PTA 広報紙「清流館だより」発行 年 2 回 ・ 学校広報の充実 ・ 一日体験入学、学校公開参加者の満足度 90%以上 	総務課 研修課 教頭 副校長
オ	教職員の多忙化への対応を進め、業務分担のバランスをとり、業務引き継ぎが円滑に行われる体制づくりを進める。	(1) 業務内容や進め方を見直すとともに、引き継ぎ資料を整備し、円滑な業務継承ができる体制づくりを進める。 (2) 教職員の勤務時間を把握し、負担軽減のための改善を進める。 (3) 各種会議の計画的実施と効率的な運営 (4) 定時退庁日や長期休業中の休暇取得の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務のスリム化が進んでいる。 ・ 業務引き継ぎ資料が整備され、業務継承に活用されている。 ・ 超過勤務時間が縮減されている。 ・ 定時退庁日に帰宅しやすい環境となっている。 ・ 夏季閉庁日の休暇取得が進んでいる。 	副校長